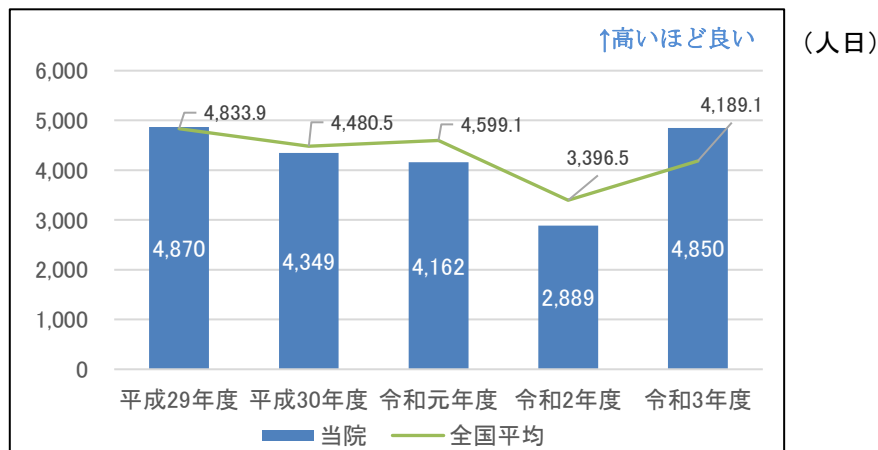


39 看護学生の受入実習学生数(自大学から) (人日)

○項目の解説

国立大学附属病院は、看護師を目指す学生の教育に社会的責任を負う必要があります。その看護学生実習に関する教育体制が整っていることを表現する指標です。単に受け入れ人数ではなく、延べ人数(人数×日数)とし、臨地実習に対する貢献の程度を評価します。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず実習が中止となることもあり、受入学生数が減少しました。

令和3年度は、実習時間の短縮や実習方法、形態の工夫と感染時や濃厚接触者となった場合の対応の見直しなどにより、実習が中止となる回数が減少しました。また、旧カリキュラムと新カリキュラムの学生が混合した年度であり、実習時間が多かったことが受け入れ人数の増加につながったと考えます。

看護部では、看護学科との連絡を密にし、患者・学生・医療者が安心して実習を行えるよう、感染防止を考慮した実習体制について検討し、受け入れ体制を整えています。また、各受け入れ部署においては、感染防止対策を徹底しながらも実習が充実するよう、学内特別講師が教員と情報共有しながら指導を行っています。長期化するコロナ禍は、今後も状況や対応の変化が予測されますが、看護学科との連携、協働を図り、学生が実習を通し知識・技術の統合、患者と医療者の関係性の構築など、臨床での学びが充実するよう取り組んでいきます。

○定義

当該年度1年間の保健学科・看護学科等の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。

一日体験実習は除きます。

研修前の事前学習にあたる E-learning は含みません。

○算式

人日(人数×日数) ※小数点以下切り捨て